


仕様変更のご案内

本機の仕様変更により、取扱説明書の下記ページの内容が変更となります。
お詫びするとともに、訂正させていただきます。

スタンバイモードが追加されました

(取扱説明書 14 ページ)

-  (切断) キーを長押しして本機の電源を切った状態が、「スタンバイモード」という名称になりました。
- スタンバイモード時は、本機の画面に「スタンバイ」と表示されます。

マイクのミュート中にマイクインジケータが点滅するようになりました

MIC MUTE キーを押して本機のマイクを一時的に停止 (ミュート) している間、マイクインジケータ (青色 LED) が点滅を繰り返します。

アドレス帳のデータを残したまま出荷状態に戻せるようになりました

本体キーによる設定

「メニュー」→「設定」→「出荷状態に戻す」→「アドレス帳を残す」を選ぶ。

「WEB 設定ページ」による設定

「WEB 設定ページ」で「出荷状態に戻す」→「アドレス帳以外を出荷状態に戻す」を選ぶ。

ご注意

各設定項目の内容および通話履歴はすべて消去されます。

QoS に対応しました

仕様の変更により、QoS (Quality of Service) の設定が追加されました。ToS (Type of Service) または CoS (Class of Service) の優先度を指定することができます。CoS を使用する場合には VLAN-ID も設定することができます。

「WEB 設定ページ」による設定

「Web 設定ページ」で「QoS」を選ぶ。

無音時のパケット制御機能が追加されました

通話中にマイクと AUDIO IN 端子が無音を検出したときの音声データの送信状態を設定できるようになりました。

無音時の音声データを圧縮する (無音圧縮)

- 使用する：無音状態を検出した場合、次に音声を検出するまで音声データの送信を停止します。
- 使用しない (初期設定値)：無音状態を検出した場合でも、音声データを送信し続けます。

本体キーによる設定

「メニュー」→「設定」→「ネットワーク設定」→「無音圧縮」を選ぶ。

「WEB 設定ページ」による設定

「WEB 設定ページ」で「無音圧縮」を選ぶ。

音声のエンコード方式が追加されました

(取扱説明書 48 ページ)

音声のエンコード方式に G.726-32 および G.729a 方式が新たに追加されました。

本体キーによる設定

「メニュー」→「設定」→「サウンド設定」→「CODEC」を選ぶ。

「WEB 設定ページ」による設定

「WEB 設定ページ」で「CODEC」を選ぶ。

RTP パケット送出間隔の設定

(取扱説明書 48 ページ)

仕様の変更により、RTP (Real-time Transport Protocol) パケット送出間隔の設定機能が追加されました。

- **G.711 拡張**: 20msec (初期設定値)、40msec
- **G.711 μ -law**: 20msec (初期設定値)、40msec
- **G.726-32**: 20msec (初期設定値)、40msec
- **G.729**: 10msec、20msec、40msec (初期設定値)、60msec

「WEB 設定ページ」による設定

「Web 設定ページ」で「CODEC」を選び、使用するエンコード方式と「RTP パケット長」を設定する。

言語設定メニューが追加されました

メニュー言語を英語と中国語で表示できるようになりました。

メニュー言語を切り替える (言語)

- **英語**: メニュー言語を英語で表示するときに、この設定を選びます。
- **日本語** (初期設定値): メニュー言語を日本語で表示するときに、この設定を選びます。
- **中国語**: メニュー言語を中国語で表示するときに、この設定を選びます。

本体キーによる設定

「メニュー」→「設定」→「環境設定」→「言語」を選ぶ。

「WEB 設定ページ」による設定

「WEB 設定ページ」で「言語」を選ぶ。

リモート制御機能が追加されました

「PJP 会議招集アプリケーション」を使用する場合などには「使用する」に設定します。

本体キーによる設定

「メニュー」→「設定」→「環境設定」→「リモート制御」を選ぶ。

SNTP サーバー使用時にタイムゾーンを設定できるようになりました (取扱説明書 57 ページ)

本機をご使用になる地域の時間帯を設定します。UTC (世界協定時) を基準に ± 1 時間単位で設定することができます。

「WEB 設定ページ」による設定

「WEB 設定ページ」で「時計設定」を選ぶ。

設定可能な SIP アドレスについて

(取扱説明書 54 ページ)

仕様の変更により、#、*を含む SIP アドレスが設定可能になりました。また、設定可能な SIP アドレスの文字数がユーザー ID 部・ドメイン部それぞれ 32 文字までに変更されました。32 文字を超えるユーザー ID 部・ドメイン部を持つ SIP アドレスが設定されている場合は、次回登録を修正する際に文字数の制限が適用されます。

SIP の登録有効期限・セッション有効期限の設定

(取扱説明書 54 ページ)

仕様の変更により、SIP の登録有効期限とセッション有効期限が設定可能になりました。

「WEB 設定ページ」による設定

「Web 設定ページ」で「SIP サーバー」を選び、「登録有効期限」と「セッション有効期限」を設定する。

設定項目に「音量微調整」が追加されました

マイクの音量を微調整する (マイク)

マイクから入力される音量を微調整できます。

オーディオ入力の音量を微調整する (オーディオ入力)

AUDIO IN 端子から入力される音量を微調整できます。

オーディオ出力の音量を微調整する (オーディオ出力)

AUDIO OUT 端子から出力される音量を微調整できます。

可変範囲: - 12.0dB ~ 12.0dB (0.5dB ステップ)

初期設定値: 0dB

ご注意

- これらの音量の微調整は▲または▼キーで行います。
- 利用環境によっては、これらの音量の設定を変更することで音が歪む原因となることがあります。その場合は歪みがなくなるまで各音量の設定値を下げてください。

本体キーによる設定

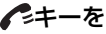
「メニュー」→「設定」→「サウンド設定」→「音量微調整」を選ぶ。

IP ネットワークを経由した通話中のトーン信号送出機能が追加されました


(取扱説明書 31 ページ)

仕様の変更により、IP ネットワークを経由した通話中にトーン信号を送出する機能が追加されました。音声自動応答サービスなど、通話中に番号を追加入力することが必要となるサービスを利用する際に便利です。


トーン信号を送出する

- 1 IP ネットワークを経由した通話中に  キーを押す。
番号の追加入力画面が表示されます。

※ヒント

複数拠点との通話中の場合は「番号追加入力選択」画面が表示されます。トーン信号を送出したい通話先を選び、 キーを押します。

- 2 数字キーを押して番号を入力する。
数字キーを押すごとに対応するトーン信号が送出されます。

- 3 入力が終了したら、 キーを押す。
通話中の画面に戻ります。




ご注意

トーン信号送出の操作中は呼び出しを着信することはできません。

「ルームサイズ」設定の内容が変わりました (取扱説明書 48 ページ)

部屋の大きさに合わせる (ルームサイズ)

部屋の大きさや使用環境にあわせて、ルームサイズを設定できます。通常の使用環境では、「大」(初期設定値)のままお使いください。

- **大** (初期設定値) : 一般的な会議室やオープンスペース、オフィスで使用する場合に選びます。通話品質は一番安定します。表示画面には、 と表示されます。
- **中** : 初期設定値では通話先でエコーが発生する場合に選びます。自機を反響しやすい部屋で使用する場面などに選んでください。表示画面には、 と表示されます。
- **小** : 「中」設定でも通話先でエコーが発生する場合に選びます。表示画面には、 と表示されます。

ご注意

- 「ルームサイズ」は通話先でエコーが発生する場合に、通話先のエコーを軽減するための機能です。自機でエコーが発生した場合に自機のルームサイズを変更しても、効果はありません。
- 「中」、「小」に変更することによりエコー処理能力は上がりますが、通話品質は低下します。エコーが発生する場合にのみ、変更してください。

本体キーによる設定

「メニュー」→「設定」→「サウンド設定」→「ルームサイズ」を選ぶ。

「WEB 設定ページ」による設定




「WEB 設定ページ」で「ルームサイズ」を選ぶ。

連結接続機能が強化されました

(取扱説明書 17、48 ページ)

連結接続機能が強化され、プロジェクトフォンを 4 台まで連結接続できるようになりました。この仕様変更に伴い、「外部入出力」設定の内容が変わりました。

外部機器を接続する場合や連結接続する場合に設定を変更する（外部入出力）

- なし（初期設定値）：外部入出力を無効にします。
- オーディオ：本機に外部オーディオ機器を接続する場合、この設定を選びます。表示画面には、と表示されます。
- 連結（親）：連結接続する場合に、親機（LAN に接続されている側）の PJP-100H では、この設定を選びます。表示画面には、と表示されます。
- 連結（子）：連結接続する場合に、子機（LAN と直接接続されていない側）の PJP-100H では、この設定を選びます。表示画面には、と表示されます。

本体キーによる設定

「メニュー」→「設定」→「サウンド設定」→「外部入出力」を選ぶ。

「WEB 設定ページ」による設定

「WEB 設定ページ」で「外部入出力」を選ぶ。

- 連結接続する場合は、プロジェクトフォンをそれぞれ 2 メートル以上離して設置してください。
- 連結接続する場合は、ルームサイズを「小」に設定してください。
- 3 台のプロジェクトフォン（親機、子機 1、子機 2）を連結接続する場合は、親機の AUDIO OUT 端子を子機 1 の AUDIO IN 端子、子機 1 の AUDIO OUT 端子を子機 2 の AUDIO IN 端子、子機 2 の AUDIO OUT 端子を親機の AUDIO IN 端子に接続し、親機の外部入出力を「連結（親）」、子機の外部入出力を「連結（子）」に設定します。
- エコーやハウリングが発生する場合はそれぞれのプロジェクトフォンを離して設置するか、ボリュームを下げてください。
- エコー防止のため、親機または子機として接続されているプロジェクトフォンのボリュームを同じ設定にしてください。

ご注意

この仕様変更に伴い、カスケード子機（同室）接続モード（取扱説明書 61 ページ）が削除されました。

設定の保存・ローディング機能が追加されました

仕様の変更により本機の設定を保存する機能が追加されました。本機を一時的に他の場所で使用する場合などに便利です。設定は 3 つまで保存できます。

設定を保存する

本体キーによる設定

- 1 初期画面から「メニュー」→「設定」→「設定の保存と変更」→「設定の保存」を選ぶ。
- 2 3 つの設定エリアの中から保存するエリアを選ぶ。

「WEB 設定ページ」による設定

- 1 「WEB 設定ページ」で「設定の保存」を選ぶ。
- 2 3 つの設定エリアの中から保存するエリアを選ぶ。

ご注意

- 既に設定が保存されているエリアを選んだ場合は、保存されている設定を上書きします。
- アドレス帳と通話履歴、設定されたパスワードは保存されません。
- 「出荷状態に戻す」（74 ページ）を使用して本機の設定を工場出荷状態に戻した場合、保存した設定も消去されます。

保存した設定を使用する

本体キーによる設定

- 1 初期画面から「メニュー」→「設定」→「設定の保存と変更」→「設定の変更」を選ぶ。
- 2 3 つの設定エリアの中から呼び出す設定を選ぶ。

「WEB 設定ページ」による設定

- 1 「WEB 設定ページ」で「設定の変更」を選ぶ。
- 2 3 つの設定エリアの中から呼び出す設定を選ぶ。現在の設定に選択した設定を上書きし、本機は再起動します。

パスワードによる設定の保護機能が変更されました

(取扱説明書 50 ページ)

仕様の変更により、「WEB 設定ページ」だけでなく、本体キーによる設定もパスワードで保護できるようになりました。この機能を使用することにより、「WEB 設定ページ」への不正アクセスや管理者以外のユーザーによる重要な設定の変更を防ぐことができます。

保護される設定は、以下の通りです。

- ネットワーク設定
- 出荷状態に戻す
- ファームウェアの更新
- 設定の保存
- パスワードの解除

本機でパスワードを設定する

- 1 初期画面から「メニュー」→「設定」→「環境設定」→「パスワード」→「パスワード設定」を選ぶ。

パスワードの入力画面が表示されます。

- 2 数字キーを使用し、4桁のパスワードを設定する。

既にパスワードが設定されている場合は、「旧」の欄に現在設定されているパスワードを入力します。「新」の欄に設定するパスワードを入力し、確認のため、「再入力」の欄にパスワードを再入力します。

本機でパスワードを解除する

- 1 初期画面から「メニュー」→「設定」→「環境設定」→「パスワード」→「パスワード解除」を選ぶ。

パスワードの入力画面が表示されます。

- 2 数字キーを使用し、4桁のパスワードを入力する。

パスワードが解除され、保護された設定を変更することができるようになります。

※ヒント

- 工場出荷状態ではパスワードの設定はありません。
- 本機のパスワードは「WEB 設定ページ」のログインパスワードと共通です。
- 「パスワードの変更・削除」は「環境設定」メニュー内にあります。
- パスワードが設定された状態で、本体キーを使用して保護された設定メニューを選ぶと、パスワード入力画面が表示されます。パスワード入力後、5分間キー操作がなかった場合、本機は再度保護状態に入ります。
- パスワードが解除された後は設定は保護されません。再度設定を保護する場合は、パスワードを再設定してください。
- パスワードを忘れてしまった場合、本機では出荷状態に戻すことができません。「マスターパスワード」にて「WEB 設定ページ」にログインし、「出荷状態に戻す」を実行してください。マスターパスワードは「WEB 設定ページ」からのみ入力できます。

マスターパスワード

本機のシリアルナンバーの頭から2番目の英数字を取り除いたものです。

例：シリアルナンバーが「NP4012345」の場合
→マスターパスワード：「N4012345」

マイクモード」のゾーン機能が強化されました

(取扱説明書 45 ページ)

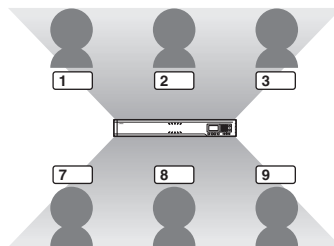
「マイクモード」のゾーン機能が強化され、收音範囲が広がりました。この仕様変更に伴い、「マイクモード」設定の内容が変わりました。


收音エリアを選ぶ (マイクモード)



通話中のマイクによる收音エリアを指定します。

- **ゾーン (近)** (初期設定値)：発話者の音声だけを追尾せずに、音声を広範囲に收音します。比較的静かな環境下での利用に適しています。「マイクモード」設定画面で数字キーを押して、收音を有効にするエリアを指定します。押したキーに合わせて、下図の範囲が有効/無効になります。



收音が有効な方向すべてのマイクインジケーター (青色 LED) が点灯状態となり、表示画面にはと表示されます。

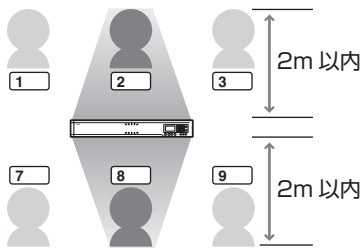
※ヒント


- [5] キーを押すと、すべてのエリアの收音が有効になります。
- 片側の任意のエリアのみを、收音エリアとして指定することはできません。
- 複数のエリアを同時に指定することもできます。ただしこの場合、指定できるのは全エリアまたは向かい合ったエリア（1と2および7と8、2と3および8と9）のセットのみです。
- **ゾーン（遠）**：発話者の音声だけを追尾せずに、ゾーン（近）より2m以上離れた音声を広範囲に收音します。比較的静かな環境下での利用に適しています。

ご注意

「ゾーン（遠）」ではエリアの指定は設定できません。

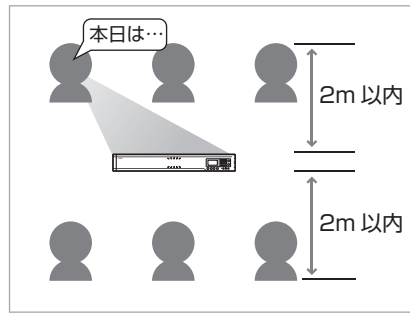
- **スポット**：マイクの收音エリアを狭い指向性で正面中央に固定します。発話者が12人で固定されている場合や、周囲にプロジェクトなどの騒音源が存在する環境に適しています。「マイクモード」設定画面で数字キーを押して、收音を有効にするエリアを指定します。押したキーに合わせて、下図の範囲が有効／無効になります。



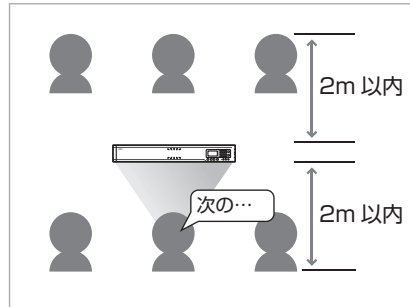
收音が有効な方向すべてのマイクインジケータ（青色LED）が点灯状態となり、表示画面にはと表示されません。

※ヒント

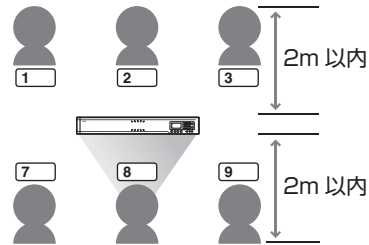
- 片側の任意のエリアのみを、收音エリアとして指定することはできません。
- 複数のエリアを同時に指定することもできます。ただしこの場合、指定できるのは向かい合ったエリア（1と7、2と8、3と9）のセットのみです。
- **追尾**：收音エリアを固定せずに、発話者の音声をマイクシステムがフォーカスして自動追尾します（同時に收音できる発話者は1人のみです）。非常に狭い指向性で收音できるため、発話者の音声以外の周囲雑音を大幅に低減することができます。雑音や騒音が比較的多い環境で、音声をよりクリアに收音したい場合に適しています。




▽ 発話者の方向を自動追尾



「マイクモード」設定画面で数字キーを押して、追尾を有効にするエリアを指定します。押したキーに合わせて、下図の範囲が有効／無効になります。



收音が有効な方向（現在の発話者の方向）のマイクインジケータ（青色LED）のみが点灯し、表示画面にはと表示されます。

※ヒント

- [5] キーを押すと、すべてのエリアの追尾が有効になります。
- 複数のエリアを同時に指定することもできます。
- 特定方向のみを收音しないように設定することもできます。

本体キーによる設定

初期設定から「メニュー」→「設定」→「サウンド設定」→「マイクモード」を選ぶ。

※ヒント

初期画面または通話中画面で キーを押し続けて、「マイクモード」設定画面を表示することもできます。

「WEB 設定ページ」による設定

「WEB 設定ページ」で「マイクモード」を選ぶ。